

2022年2月24日

各講座・部門・分野の長 各位

精神・神経病態解明センター
センター長 貝淵弘三

FUJITA ニューロサイエンスセミナーにおける発表者の募集について

近年、日本の基礎研究レベルの低迷化が大きな社会問題となっています。また、急速な技術革新に伴い、研究室単位で世界トップクラスの研究を維持することは非常に困難な時代となっています。現状を踏まえて、2021年4月より精神・神経病態解明センターが藤田医科大学に設置されました。本センターは、精神・神経を対象とする研究を実施している研究室がアライアンスを深められる環境整備に努めることをミッションの一つとして掲げています。学内若手研究者の育成および学内組織の連携強化による研究レベルの向上を目指し、FUJITA ニューロサイエンスセミナーを2022年度も継続して開催します。つきましては、本学の発展のためにも研究セミナーで発表いただける大学院生およびポスドク・助教・講師・准教授クラスの若手研究者を3月31日（木）までにご推薦いただきますようお願い申し上げます。

[FUJITA ニューロサイエンスセミナー発表者推薦書](#)

名称：FUJITA ニューロサイエンスセミナー

対象：医学研究科、保健学研究科および総合医科学研究所などで精神・神経系の研究を実施している若手研究者

日時：毎月第3土曜日 9:30～11:00 頃

場所：大学2号館901（予定）

プログラム：大学院生～准教授クラスによるプレゼンテーション（2名） 90分
（一人当たり45分：発表25分＋質疑20分）

発表内容：自己紹介、研究背景、実験結果と考察、今後の予定、研究内容や実験技術に関する相談など

主催：精神・神経病態解明センター（貝淵弘三、永井拓）

実行委員：永井拓（精神・神経病態解明センター）、池田匡志（ゲノム解析部門）、水谷泰彰（ヒトイメージング部門）、毛利彰宏（神経化学部門）、小清水久嗣（URA）、船橋靖広（細胞生物学部門）、国田勝行（計算科学部門）、檀上輝子（神経生理学部門）